

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

当院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用することにご了解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	膵臓癌術後補助化学療法 S1 の認容性に対する予測因子としての GNRI を指標とした有用性の確認研究
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山 隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	肝胆膵・乳腺外科 坂本明優
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 12 月 31 日
対象となる方	2021 年 11 月から 2024 年 12 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち膵臓癌の手術を受け、S1 による術後補助化学療法を行った患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、手術時の年齢、既往、悪性疾患の p-Stage、身長、体重、BMI、ASA 分類、術式、手術時間、出血量、輸血の有無、術前の喫煙の有無、術前の副腎皮質ステロイド使用の有無、術前の免疫抑制剤使用の有無、血液検査結果、術前治療の有無と種類、術後合併症、術後在院日数、S1 による有害事象の有無、予後 等
研究の概要 (目的・方法)	過去に当科で膵臓癌の手術を受けられた患者さんのうち術後補助化学療法を行った方の診療録(カルテ)の情報を収集し、化学療法前の GNRI が S1 による術後補助化学療法の完遂の予測に有用であることを論文発表致しました。この研究は、耐術能や術後合併症だけでなく、GNRI が化学療法の完遂に影響するのかを他施設においても有用性を示せるのかを評価する研究です。その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたしま

	す。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。 また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院肝胆膵・乳腺外科 坂本明優 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089－960－5327

【共同研究について】

この研究は、以下に記載の他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんの情報は、氏名や住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、記録媒体を主管機関である愛媛大学医学部附属病院に提供します。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【研究組織】

研究代表者	愛媛大学医学部附属病院肝胆膵・乳腺外科 坂本明優
共同研究機関	獨協医科大学附属病院 肝胆膵外科